

1. 科目名 (単位数)	会計学入門 (2単位)	3. 科目番号	GELA1351
2. 授業担当教員	牧野 功樹		
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング (グループ・ディスカッションなどの双方向対話型授業)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「簿記」との関連がある		
7. 講義概要	企業の経営成績や財政状況を把握するためには財務諸表 (貸借対照表、損益計算書など) を読み取る力が必要不可欠である。そのため、会計情報を利用するステークホルダー (利害関係者) には、会計の仕組みや専門用語の習得が求められる。そこで、本講義では、会計学の基礎的な理論や現状について考察する。財務諸表を理解するために、会計の考え方や会計の基本的な構成要素である資産・負債・純資産 (資本)・収益・費用などを学習する。		
8. 学習目標	1. 会計に興味を持つことができる。 2. 会計的思考法を理解できるようになる。 3. 数字を根拠に経営を考えることができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	受講後、練習問題を繰り返し解くことが大事なので、毎回、練習問題のプリントを配布し、授業内でも必ず問題を解く時間を設ける		
10. 教科書・参考書・教材	『ビジネス会計検定試験@公式テキスト3級 第5版』大阪商工会議所		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 会計学の基礎的な事項を理解し説明できるか。 2. 会計的思考法で考えることができるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。] 1. 授業への積極的参加 総合点の30% 2. 課題レポート 総合点の30% 3. 期末試験 総合点の40%		
12. 受講生へのメッセージ	会計学と聞くと、数字をイメージして敬遠する学生が多いようです。会計の知識は社会に出てから大いに役立つ学問です。専門用語もできる限り平易な言葉で説明をして、受講生が日常生活の中でイメージしやすいように心がけています。時々、講義中ディスカッションを設け、議論によって理解を深めていきます。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、簿記と会計について	事前学習	教科書を用意して講義に臨む
		事後学習	配布したプリントを読むこと
第2回	財務諸表とは	事前学習	テキスト「第1章」を読んでくること
		事後学習	本日の内容を復習すること
第3回	貸借対照表：仕組み、資産	事前学習	テキスト「第2章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第4回	貸借対照表：負債、純資産	事前学習	テキスト「第2章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第5回	損益計算書：仕組み、ルール	事前学習	テキスト「第3章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第6回	損益計算書：利益概念	事前学習	テキスト「第3章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第7回	キャッシュ・フロー計算書：キャッシュ・フロー計算書とは、貸借対照表と損益計算書との関係	事前学習	テキスト「第4章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第8回	キャッシュ・フロー計算書：仕組み、読み方	事前学習	テキスト「第4章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第9回	財務諸表分析：財務諸表を読んでみよう、関係者と対象情報	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第10回	財務諸表分析：基本体系、判断の基準	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第11回	財務諸表分析：基本分析、成長性・伸び率の分析	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第12回	財務諸表分析：安全性の分析、キャッシュ・フロー計算書の利用	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	本日の内容を復習すること
第13回	財務諸表分析：収益性の分析、1株当たり分析	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと

		事後学習	本日の内容を復習すること
第14回	財務諸表分析の展開, 財務諸表分析まとめ	事前学習	テキスト「第5章」の該当箇所を読むこと
		事後学習	配布された練習問題を解くこと
第15回	総合問題演習	事前学習	これまでの内容を復習しておくこと
		事後学習	配布された練習問題を解くこと
期末試験			